

令和7年度の主な事業

令和7年度予算につきましては、市制100周年の取組を一過性のものとせず、「あたらしい川崎」の実現に向けた施策を着実に推進するとともに、防災・減災、暑熱、防犯などの安全対策や、安心して子どもを産み育てられる環境づくりなど、生命を守り、誰もが安全・安心に暮らすことができる取組に対して重点施策として予算を配分したことから、「生命（いのち）を守る安全・安心予算」と名付けました。

今後も、「安心のふるさとづくり」と「力強い産業都市づくり」による、持続可能な「最幸のまちかわさき」の実現をめざして取り組んでまいります。

ここでは、令和7年度予算におけるそれぞれの主な事業を紹介します。

重点施策① 『防災・減災、暑熱、防犯などの安全対策』

- 災害時のトイレ対策（2億2,799万円）
 - ・携帯トイレの備蓄
 - ・マンホールトイレ整備に向けた検討
- 市立学校の体育館等の空調設備の整備（2億9,170万円）
- 効率的・効果的な防災情報の発信（4億1,296万円）
 - ・防災ラジオの導入 など
- 災害時要援護者の個別避難計画の作成支援（8,657万円）
 - ・高齢者・障害者の災害時個別避難計画の作成
- 木造住宅の耐震化支援（1億574万円）
 - ・木造住宅耐震改修等への助成
 - ・木造住宅耐震診断士の派遣
- AEDのコンビニエンスストアへの設置推進（889万円）
- 防犯カメラの設置推進（1億757万）
 - ・町内会・自治会等への防犯カメラ設置補助金
 - ・商店街への防犯カメラ等施設整備補助金
- 平瀬川・多摩川合流部における治水対策（4億4,319万円）
- 安定給水の確保・下水道における地震対策・浸水対策（179億4,240万円）

重点施策② 『安心して子どもを産み育てられる環境づくり』

- 周産期支援における切れ目ない支援（18億2,092万円）
 - ・妊婦健康診査の支援
 - ・産後ケア事業における安全配慮の充実
- こども・子育て施策におけるデジタル化の推進（4億4,248万円）
 - ・かわさき子育てアプリのリニューアル
 - ・乳幼児健診のDX化
 - ・一時保育システムの導入
- 医療的ケア児・者及びその家族に対する支援（1億8,890万円）
 - ・病院の受入体制の強化
 - ・短期入所稼働床数の確保
 - ・短期入所事業所と訪問看護ステーションとの連携の促進

『安心のふるさとづくり』

- 川崎らしい地域包括ケアシステムの構築に向けた取組（71億4,133万円）
 - ・地域包括ケアシステムの推進
 - ・福祉人材の確保・定着に向けた取組
 - ・市立看護大学大学院の開学
 - ・民生委員の活動環境改善と改選
 - ・民間特別養護老人ホーム等の整備促進 など
- アピアランスケア助成制度の創設（2,513万円）
- 持続可能な学校運営体制の構築に向けた教員の人材確保と負担軽減の取組（30億4,087万円）
 - ・非常勤講師の勤務条件の改善
 - ・正規教員の採用に向けた取組の推進
 - ・働き方改革・働きやすい職場環境づくりの推進
- スポーツ・文化芸術の振興（6億4,350万円）
 - ・若者文化の発信
 - ・市民ミュージアム「IN ACTION」の推進
- 市制100周年のレガシーに関する取組（1億5,021万円）
 - ・100周年記念事業を契機として生まれた多彩な事業の推進
 - ・市民・企業・団地等とのつながりの継続・発展

『力強い産業都市づくり』

- 脱炭素化の推進（8億3,700万円）
 - ・太陽光発電設備等設置費補助金
 - ・脱炭素モデル地区の推進
- 臨海部の活性化（8億2,072万円）
 - ・川崎カーボンニュートラルコンビナート構想の実現に向けた取組
 - ・扇島地区等の大規模土地利用転換の取組 など
- 量子イノベーションパークの実現に向けた取組（5,604万円）
- 本市の強みを活かしたインバウンド施策の強化（4,939万円）
 - ・食を中心とした受入れ環境の充実
 - ・体験型コンテンツの充実と効果的なプロモーション
 - ・戦略的な外国人動態分析調査の実施
 - ・他都市等と連携したインバウンドの誘客推進
- 京浜急行大師線連続立体交差事業の推進（4億5,423万円）
- 地域公共交通の再構築に向けた取組（1億123万円）
 - ・モビリティ・ハブの形成
 - ・新たなモビリティサービスの展開
 - ・市民への啓発・意識醸成
- みどりのまちづくりに向けた取組（4億2,914万円）
 - ・全国都市緑化かわさきフェアを契機とした取組
 - ・グリーンコミュニティ形成事業の推進
 - ・2027国際園芸博覧会への出展